

東日本大震災の被災地に思いをはせて

学校給食に方城すいとん・イギリスで復興支援

大正3年に旧方城町で起きた炭坑爆発事故「方城大非常」の際、親を亡くした子どもに振る舞われたという「方城すいとん」が市内小学校と猪位金学園の給食に登場しました。「方城すいとん」を食べて、人とのつながりや命の大切さを学び、東日本大震災の被災地にも思いをはせてもらおうと、3月11日に行われたこの取り組み。子どもたちは「方城すいとん」と一緒に、命の重みもかみしめている様子でした。また、3月5日には、本市出身で英国在住の歌手・鈴木ナオミさんが、英議会議員会館で行われた東日本大震災の復興支援コンサートに出演。復興支援ソングなどを熱唱し「これからも日英友好の懸け橋になっていきたい」と話しました。



▲おいしい「方城すいとん」にこぼれる笑顔(弓削田小5年生)



▲心を込めて復興支援ソングを歌う鈴木さん



▲4連勝で、見事優勝を果たした男子チームの子どもたち

田川ミニバスケットボールクラブ男子チームが優勝

福岡県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会

2月21日・22日、大野城市総合体育館などで「福岡県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会」が行われ、田川ミニバスケットボールクラブが出場しました。

市内の小学5年生以下の子どもたちで構成された同クラブは、まずは県内各地区から選抜された男子9チーム、女子8チームが参加する予選に出場。女子チームは残念ながら惜敗しましたが、男子チームは2戦2勝で勝ち上がると、決勝リーグでも2連勝を果たし、優勝の栄冠を勝ち取りました。

男子チームのキャプテンを務めた山崎博斗くん(金川小学校5年)は「田川市代表のキャプテンとして、全力プレーでがんばりました」と充実した表情で話しました。

新たなブランド商品と観光ツアーを紹介

開発製品公開セミナー

3月7日、田川市民会館で、田川商工会議所や田川農業協同組合、公益社団法人田川青年会議所、伊田商店街振興組合、後藤寺商店街振興組合、福岡県立大学、田川市で構成する田川市雇用創造協議会が新たに開発したブランド商品や観光ツアーの説明を行う「開発製品公開セミナー」が催され、販売事業所の担当者など20人が参加しました。

この日は、同協議会が考案した市内を巡る観光ツアーのルートや「米粉ホルモンマン」、「イチジク・リキュール」など地元産の農産物を加工した特産品16種類が紹介されました。

実際に新製品を試食した来場者は「味付けなど改良の余地はあるが、可能性は感じた」と話しました。



▲今回紹介された製品のレシピなどは市雇用創造協議会(☎49-4100)に問い合わせください